

「新庁舎建設に関する地区別説明会」の質問・意見等の記録

【会場：忠類ふれあいセンター福寿】

1	日 時	平成23年10月17日（月） 19:00～20:26
2	会 場	忠類ふれあいセンター福寿 多目的ホール
3	参 加 者	21人（ほか報道機関2人）
4	町出席者	町長、副町長、総務部長、企画室長、建設部長、忠類総合支所長、企画室参事、企画室副主幹

住民

新庁舎の建設。広報や公区長からの話では、今日の説明ほど詳しくはなく、噂話のように聞いていた。

今日の説明内容は詳しく全ての内容を理解はできないが、新庁舎建設の予算、庁舎の構造、場所など全て決定しているものとして、我々は受け止めてよろしいか。

町

資料2の表題にあるように「新庁舎建設基本方針（案）」とさせていただいている。全てが決定しているものではない。

案である段階の内容を説明させていただいて、この説明会の中であつたご意見やご要望を持ち帰り、再検討を加えながら最終的には今年度中に「案」をとって「基本方針」とするつもり。

今日お示ししているのは、現段階の役場の考え方・提案内容であつて、決定しているものではない。

住民

10月号の広報で意見を聞く場として説明会のお知らせがあつたが、忠類では防災無線があるので、そこでも流して（周知して）ほしかった。

広報8月号（P4下段）で、「総合的に判断した結果、新庁舎の建設が最良であるとの結論に達したものです。」とある。最良であるとか結論に達したということであれば、すでに決定しているということではないか。

住民

関連して。メリット・デメリットの資料がある。色々と調査した結果で記載されているものであるから、我々住民はこれを受けざるを得ない内容となっている。説明会だからそう受け止める。懇談会と称するなら話は別。

町

先程も申し上げたとおり、現段階では案である。

議会で特別委員会を設置して、この案を基に議論をいただいている最中である。議会が全てを決定するものではないから、内部では、耐震の構造上の問題があるので、新庁舎を建てざるを得ないだろうという結論になった。比較検討したのは耐震化と新庁舎の建設であるが、改修工事を実施するとなれば新庁舎建設の半分の経費で済むが、その後の庁舎がどこまでもつか。今現在40年近く経っているので、あと何年使えるのか。

それらを考え合わせた結果、皆様にお示しできる（決定ではない）案として、新庁舎を建設する方向で検討させていただいている。そのことを皆様にお知らせをしたい。

（建設）場所についても、資料にもある候補地を検討した結果、現庁舎敷地の北側の用地が空いているので、今の段階ではそこが良いのではないかという方向で皆様にお示しをしている。

広報でのお知らせの仕方にも問題があったかもしれないが、この説明会では決定していることを伝えているものではない。意見を聞いた上で、これからの基本方針、基本構想に繋げていきたいと考えている。

住民

もう一つ懸念されることは、経費の問題。22億。たまたま合併したので、合併特例債を建設に充てる…。非常に都合の良いこと。逆に良かったなという印象もある。

しかしながら、忠類の人間として心配なことは、合併するにあたって、「忠類総合支所はなくさない」、「職員数を減らさない。」という約束であった。忠類から本町は遠い。そう言った面から新庁舎建設にあたって、この約束を守っていただいて、これらを盛り込んで検討の中身に十分加えていただきたい。

町

合併時の約束を現時点で変更することは全くない。「総合支所を無くす」だとか「職員を減らす」という考えは全くもっていないので、ご心配しているようだが、新庁舎の建設とは、全く切り離していただいて結構。

住民

合併して5年。本町にもよく行く。同じマチとして町並みもよく見ているが、国道38号線から曲がって、庁舎の前が5差路になっている。

忠類から行けば、5差路があって、(国道にでる際)曲がってすぐ橋があってという、非常に窮屈であって幕別町にとってのメリットが感じられない。折角新庁舎を建設するのであれば、町並みも視野に入れた、幕別町の核となる部分の町並みということになると思うが、庁舎だけが新しくなっても5差路があって、信号の待ち時間が長いという印象を受けるので、中心的エリアとして、幕別町の核となる町並みの形成も踏まえ、将来の計画として検討してはどうか。

町

ご存じのとおり、その道路は道道幕別大樹線で、駅前に向かう道路も道道。過去に市街地整備をするということで、道道の整備について何度も協議してきた経緯がある。

5差路についても解消できないものか、北海道と協議をしてきた経緯がある。駅前停線については、駅前広場の整備と合わせて整備した。5差路の解消については、4面の道路に改修できないか検討してきたが、道道が中心となって動いている幕別大樹線がメインであることから、かなり難しい状況とのことであった。

おっしゃるとおり、庁舎を建設した場合には、役場前の道路についても使いやすいものとなるよう検討していかなければならないものと考えている。

住民

合併の説明会の時にも、庁舎の建設について私は質問した。当時の担当者は「当分、庁舎の建設はない」と答えていた。

(今回の説明で)新庁舎建設の内容は理解できる。しかし、現庁舎が5階建てであるのは理解できない。3階建てであれば(地震の被害も)大丈夫だったと思う。

町長を始め、説明では(庁舎建設などが)確定したものではないと言うが、建設を前提にしているのであれば、物事の分からない人達に、もう少し分かりやすい資料を準備していただきたい。

例えば、公債費比率。町民一人当たりではどの位になるのか。庁舎を建設した場合の町民一人当たりの負担はどうなるのか。こういった細かい資料で説明して欲しかった。将来に向かって、我々がどの位負担をするのか明確になっていたほうがよい。(急がないが資料として作成して欲しい。)

町

今後の広報の中でお知らせしていきたいと考えている。(了承)

住民

合併の論議をしている時には、庁舎建設の話はなかった。新町建設計画にも庁舎建設の記載はない。

先の震災から防災拠点としての整備と思っていたが、平成15年度に耐震診断を実施。結果はNG。しかし新町建設計画は平成16年から平成17年にかけて作成したもの。少数の人しか(新庁舎建設)を知らなかったのでは。意外である。

広報7月号では、経費節減に努めるとの記載があったが、8月号では、住民に新たに負担を求めたり施策の予算を削ることはないとの記載。住民に向けての発表の仕方が違う。これはどういうことか。

町

合併論議の時には、庁舎建設については全く考えていなかった。少なくとも庁舎建設から50年位経たなければ、建て替えの話も出てこないという思いであった。

耐震化の問題が、平成16年位から出てきて、先ずもって学校の耐震化を優先してきた。耐震改修工事を行い、これらが昨年で終わった。次に、庁舎について検討するため、昨年10月に専門家に調査を依頼したところ。

今年の4月の町長選挙の時、公約にも謳わないで、今頃急に建設の話がでてくるのかということも言われた。

しかし、専門家の調査結果報告は3月下旬であり、その結果によって建て替えるのか改修するのか、あるいは、そのまま3年5年10年と使い続けることが良いのかということが分からない状況では、公約はもとより、合併時に何年後に庁舎を建設するというにはならなかった。

急に話が出てきたという感があるかもしれないが、今年の6月に原案、たたき台として皆さんにお示しをした。決まりましたからお願いしますという思いは、今も一つありません。

ところが、広報や報道を見るとすでに建設が決まったかのようなところで、一人歩きをしてしまった。住民の声も聞いていないと批判を受けることに。

逆に役場が「庁舎建設をします」と言った時に、全く白紙で提案しても相手にされない。少なくとも、今回のようにたたき台をもって、皆さんにお示しをして、ご意見をいただきながら、修正を加えて行かなければならない。もう一つには、議会にも同様に協議を進めていかなければならない。

庁舎建設によって借金が増えることは事実だが、そのことによる住民の方の負担が増えるということは考えていない。借金を返すことによる影響は、どこかにあるのかもしれない。

しかし、巷では、「200億の借金があって更に20億の借金とは」と言われるが、実際には200億もないし、来年3月には180億になる。平成26年か平成27年には150億か160億に減る。公債費比率も下がる。

ただ、莫大な経費を掛けることが、町民に大きな負担となって、これからの事業に影響したり、自分たちの生活に負担がかかるという心配があるということでは、これから「そうではない」ということを説明していく責任が我々にはある。広報等でも十分注意して掲載していきたい。

住民

合併特例債があるということは、この事業に非常に適している。忠類村は昭和50年に今の庁舎を建設。当時4億円ちょっと。庁舎建設の起債は中々付かない(財政措置がない)ということで、(村)の事業の順位(優先度)が上がらなかった。

(当時の)庁舎建設の起債は付かないことから考えれば、合併特例債は交付税で措置される

ので、やらせのようだが、建設しなければならないということであれば、今が財源的にはチャンス。それが私の意見。

町

庁舎建設には、補助や起債が難しい。起債も単なる借金。例えば、10億の事業であれば、75%、7億5千万円の借金をする訳だが、この借金はプラス利子・子息で償還しなければならない。

合併特例債は、7割を交付税で措置される。大変有利なものが活用できる。しかし、我々は決して合併特例債があるから庁舎を建設するのではなく、庁舎を建設するのであれば合併特例債を活用できる範囲で活用したほうが有効であると。合併特例債は活用できる枠があるので、その範疇の中で事業を進めたいと考えている。

合併特例債の活用期限が5年間延長される可能性もあり、平成27年にこだわる必要はないと言われるが、災害はいつ起こるか分からないことから、この方向で進めることが良いのではと思っている。

住民

庁舎の関係については「案」ということだが、これからの協議はどこでしていくのか。と言うのも、議員は（庁舎建設が）了解済みのような広報の書きぶりであるから。

今回の説明会で、賛成意見が多ければ決まったも同じ。しかし、今回はこれだけの人数しか集まっていない。防災無線で開催周知をすればよかったが、広報配布から15日以上経っているので忘れてしまう。で、住民の意見はこうだったとなっても、少数意見であって総体的な意見ではない。なので、今後、もう一度このような説明会の開催を考えているのか。

住民

関連で。今回は「説明会」。「懇談会」ではない。実は合併のときの協議に当たっての忠類地区では、説明会は開催された。懇談会ではない。大きな違いがある。説明会では質問は可能だが意見を述べることができない。懇談会は一人一人が意見を述べられる。この大きな違いが、当時から今でも尾を引いている。

行政サイドではなく、住民サイドから考えたメリットは大きい。そのような進め方がよいのでは。

忠類は防災無線がある。広報でもお知らせがあったが、身勝手なことかもしれないが配慮して欲しかった。要望として。

町

説明会が終わった後、どのような形が良いか決めてはいないが、議会と相談しながら、パブリックコメントなどによるご意見を頂戴したり、あるいは、住民懇話会やアンケートなど、場合によっては、必要になってくるものと考えている。

説明会でいただいたご意見を内部でも検討し、議会にも報告する。また広報の中でも意見や要望を掲載したいと考えている。

住民

要望として。この議会の特別委員会に住民の代表を入れようという考え方はあるのか。

町

議長を除く全議員で構成されている。議会としての特別委員会が設置されているので、そこに住民の代表が入ることはない。

秋の公区長会議も予定している。春の公区長会議は原案の原案としてしか説明していないので、皆様からの意見を集約した形で説明をさせていただく。

住民

これから具体的に詰めていくことになると思うが、その時に再度このような説明会を開催するとかは考えていないのか。

町

行政側は、議会に対し「耐震補強するのではなく、新庁舎を建設する方向が最良である」とお示しした。現在議会の中では、我々の考え方と同じ考え方に立ち、建設すべきであるとの考え方に至っている。

しかしながら、今年度中に基本方針を肉付けした基本構想の策定を考えているが、その根幹となるのが建設場所である。

場所については、地方自治法の中で条例で定められていることから、行政としては、現庁舎の北側にと提案しているが、議会から結論をいただいている段階ではない。

結論をいただいた段階で、基本方針→基本構想→基本設計となるが、どういった方法が良いかについては、議会の論議を見定めた上で、進めていきたいと考えている。

住民

今話を聞くと、建設は決まったと聞こえる。協議する何物もない。住民に対しては説得するだけか。そうすると、基本方針(案)は基本方針であって、「案」ではない。矛盾するのでは。

町

建設することを最終的に決定することは、議会の議決が必要になる。

住民

議会で決めるというけれど、その議員が了解しているではないか。

町

全てを了解しているものではない。

住民

耐震化が必要であれば、新庁舎の建設をやらざるを得ないだろうということ。そうすると、今言っていることと、やっていることが違うのではないか。住民に説得をするという形になるのでは。

町

基本構想に載せるために決定をしたい。構想が完成した際には皆さんにお示ししたいが、構想ができたからといって建設にGOサインがでたのかというと、決してそうではない。

計画が完成したという形にはなるが、計画＝建設ではない。

現段階で、決定したものは何もないと考えていただいて結構。

住民

今日の説明会の印象として賛成か反対か、どう感じているか。

町

賛成を求めている訳ではない。もちろん反対も。新庁舎の建設に当たって、役場の考え方をお示しした。様々な意見が出ることを想定してこの場に臨んでいる。皆様からのご意見をいただくことで、方向性が変わることもあり得るだろうし、賛成、反対の観点から説明会を開催しているものではない。

住民

了解した。いずれにしても、住民に分かりやすい資料なり説明をして欲しい。

住民

私の意見。庁舎の建設は必要と思っている。合併時には話は出ていなかったが、箱モノの建設をし、その合併の雰囲気だけをもって箱モノ行政の手法はとらないという認識のもとで両町村が合併したと理解している。

ところが、現実問題として、本庁舎は待ったなしの状態。補強をするよりは新庁舎を建設した方が効率的との判断で、ここまで来たのだから、私は建設すべきと考える。合併した町のシンボルとして現庁舎は危険過ぎる。エレベーターにも怖くて乗れない。

財政の問題でも、提示のあった資料で驚いたが、22億もの借金をしてピークの時（H27）でも公債費比率が16.4%で収まる。あくまでも推計とはいえ、合併当初のような状況にはならない。財政的にも無理な仕事ではないのではないか、と思う。

場所についても、現在地をお願いをしたい。三極化が現実である中で、その中間点であることと、町長がおっしゃるとおり均衡ある発展を遂げていかなければならない。どこか（三極）の1箇所が駄目になってしまえば、幕別町全体が成り立たない。そのような観点からも現在地に建設を。これが私の意見。

要望だが、この際、現在の町民会館をどうにかしていただきたい。かなり老朽化してきている。

町民会館も含めた複合的な庁舎建設、あるいは、保健福祉センターの空きスペースを町民会館機能に転用するなど検討していただきたい。

住民

札内地域は人間関係が希薄化している雰囲気があり、忠類では近すぎではあるが、イベントなどではまとまりがある。

人口の多い札内に建設となると、利便性は良いが、町本来の持っている良さだとかが中々再建しにくいということが情情的にある。

総合的に考えると、今の現在地で、市街化も含めて、情情的には検討を進めていただきたいと思う。

(了)